

Edgewise Society in Kyushu(ESK) 2026年第2回セミナーのご案内

ESKは45年の歴史ある、九州を中心とした矯正歯科専門開業医によるスタディ・グループです。年間3回開催致しますセミナーは、さまざまな歯科関連分野でご活躍中の講師によるご講演を、間近でじっくり拝聴できる貴重な機会となっております。一般開業医や矯正専門開業医、そして大学関係者にも広く門戸を開いていますので、会員外の先生方にもオブザーバーとしてご参加頂けます。

2026年第2回セミナーは、午前に歯科医師会館で会員による症例展示、アンコール賞の発表、午後は矯正臨床経験の豊富なお二人、元新潟大学助教授の篠倉均先生と広瀬久三先生による講演となっております。お気軽にご参加ください。



新潟市 篠倉 均 先生 (Dr. Hitoshi Sasakura)

1972年3月 新潟大学歯学部卒業、1976年3月 新潟大学大学院修了、1982年4月 新潟大学歯学部助教授、1992年3月 新潟大学歯学部退職、1992年4月 ささくら矯正歯科クリニック開院

矯正歯科界に身を置いて考えたこと、学んだこと 私は大学卒業後矯正学教室の医局に入り、54年間、矯正に携わってきました。下記の点について失敗談も含めてお話ししたいと考えています。

- 1) 若年者の歯周組織の管理、埋伏歯や萌出異常歯に対する対応 矯正治療では装置を装着しますので、その分不潔になりやすく、矯正治療開始時からプラークコントロールが重要です。埋伏歯や萌出異常歯の開窓やけん引時には歯周組織に配慮した外科処置が必要です。
- 2) 成人矯正治療について ①歯周組織が正常な歯列の矯正治療と②歯周組織に問題のある歯列の矯正治療があります。両者は治療方針やゴール、保定が全く異なります。①では側貌や咬合改善に重きが置かれますが、②では歯周治療を絡めて、歯を残すことを主な目的になります。当然保定装置や保定期間も異なります。
- 3) その他、私の臨床例から



高知市 廣瀬 久三先生 (Dr. Hisamitsu Hirose)

1976年3月 新潟大学歯学部卒業、1976年4月 新潟大学歯学部矯正学教室勤務、1983年5月 高知大学医学部歯科口腔外科勤務、1984年7月 ひろせ矯正歯科開設、2024年10月 ひろせ矯正歯科閉院

矯正臨床におけるセルフケアのサポート 矯正歯科治療の目的は審美面のみならず長期の歯の健康にも寄与することであるが、治療中のう蝕や歯周疾患の発症予防や治療結果、治療後の長期安定など苦慮することも多い。そのために当院で取り組んだ歯科衛生士業務の見直しについてお話しします。

日時 2026年7月16日(木) 10:00-17:30

場所 10:00 福岡県歯科医師会館(福岡市中央区大名) 5階 視聴覚室

10:00-10:50 会員の症例検討会(若江先生、鮎瀬先生)

11:00-12:00 分山 英次先生、アンコール賞 歯科矯正用アンカースクリューを使用した上顎前突抜歯症例

12:10-12:40 会員ランチ(4階会議室)★会員外の先生方は、会場周辺にて各自ご昼食をおとりください。

12:45-13:00 ランチョンセミナー フォレストワン

13:00-17:30 講演 篠倉 均 先生 廣瀬 久三 先生(途中休憩有り)

参加費 : ESK 会員 ¥ 0、会員外の歯科医師・コデント ¥ 5,000

主催 : Edgewise Society in Kyushu (通称 ESK)、会長 久保田 隆朗(福岡県八女市)

<http://www.esk21.com>



お申込みお問合せ : yours@muse.ocn.ne.jp (久保田 隆朗) 又は Fax 0943-25-6057 (ユアーズ矯正歯科) まで。

フリガナ	フリガナ	
お名前	ご所属医療機関	
フリガナ		コメント等 :
ご住所 〒		
Tel	Fax	E-mail

会員外のご参加者は、当日会場にて¥5,000のお支払いをお願い致します。